

2003年11月例会レジュメ

11-1 村田 敏夫 (機械部門) 全熱交換器による換気とその検証方法

Toshio Murata Ventilation by a use of the total heat exchanger and its measurement methods

本講演では、全熱交換器の概要と最近改訂された JIS 規格および海外規格について説明を行った。また改訂建設基準法で機械換気が義務付けられ、これにともなう換気機械の型式認定と、その申請時の性能検証方法について解説した。全熱交換機は、温度と湿度について作用する空気対空気の熱交換器で、主に空調の外気負荷を軽減する目的で使用される。全熱交換器に関しては、JIS B-8628「全熱交換器」として、2000年に性能を確認する上で必要な項目と、その技術的方法が定められ、2003年に改訂版が発効になった。平成15年7月に建築基準法が改正され、居室における機械換気が義務付けられた。これに伴い、全熱交換器も換気機器としての型式認定が国土交通省大臣認定機関により実施されることになった。型式認定申請時に添付する性能測定結果は、法に定められた値を保証できる信頼性を有することが前提となる。そこで JIS 規格を基に信頼性確保を前提とした測定方法の見直しが実施され、認定作業開始前に公開するに至った。まとめ 室内空気質の確保と、地球環境保護という我々に与えられた義務を果たす上で、全熱交換器は必須の機器であり、その正しい選定・使用が求められている。

Japanese Industrial Standard for "Air to air heat exchangers" has been issued in 2000 and revised in March 2003. The amended Building Standard Law on Sick House has been issued in July 2003. The law provides mandatory installation of ventilation equipment and ventilation must be certificated by authorized organization. A new measurement method for "Air to air heat exchangers" was issued to match the certification procedure, which are based on JIS Standard.

11-2 花岡 浩 (機械/総合技術監理部門) 電力関係技術コンサルティング - 挑戦中

Hiroshi Hanaoka Challenge to Technical Consultation Business

技術士資格取得と相前後して技術コンサルティング業(有限会社)を開始してから約半年が経過した。この間の経験を踏まえて、私に関わる「団塊の世代」、「技術・技術者」及び「独立・起業」をサブテーマとして現状認識、挑戦状況及び課題について述べた。昨今の企業リストラ環境下において「団塊世代」は定年を人生の折り返し点近傍で迎え、二毛作人生としての後半をいかにサクセシブルに生きるかの選択を迫られ始めている。また、リストラと年功序列廃止の動きは、従来企業に従属していた技術者が真に Professional として自律的に生きてゆく為のトリガーを与えられたかに考えられるが、個人としての力の限界がある。思わずもこのような背景で起業し、自律的行動の為のチャレンジとして「目標は大きく」、当面は「出会いを大切

に」「何でもやる」から始めた経過と「出会い」に関して本発表を契機に大きく踏み出すことが出来たことに感謝する。これから急増が予想される起業技術士の支援ネットワーク構築と真の Professional Engineer 集団力発揮へのアプローチが今後の大きな課題であることを発表準備過程において学んだ。

Approach and short time experience of the reporter's technical consulting business is presented. It consists of three sub-themes such as Baby-boom generation, Engineer and Business promotion, all of which the reporter are involved. Even in present severe economic situation, it is important for us to have positive thinking for business development and for composing business network, especially for small or private enterprises. It is also valuable to establish solid status of Professional Engineer like that in Europe.